

1. 特別講演 I

農林水産省 食料産業局長 針原 寿朗

(1) プロローグ

現状をみると、最も豊かな資源に恵まれた農山漁村は、本来は最も価値を生み出す場所であるはずなのに、農山漁村が豊かとはいえない。それは、1次・2次・3次産業間のバリューチェーンがうまく繋がっていないからではないか。食料産業は既に約100兆円規模の日本最大の産業ともいえ、これから50年先の日本の成長を支え得る。そこで資源(食料)を有する農山漁村に価値をつけるという原点に還る大きなチャレンジ「農山漁村におけるイノベーション」をやりたい。新設された食料産業局にとっての大きなチャレンジだ。

(2) 食料産業局のチャレンジ

大きなチャレンジの前に、まず①バリューチェーンを繋ぎ、農林漁業を成長産業化するためのファンド設立、②原発事故によって落ち込んだ輸出戦略の立て直し(日本の食文化の活用など)、③再生可能エネルギー推進のための農山漁村にある広い土地の活用、から取り組む。

(3) さらに成長に向けて

食料産業局の創局の理念は、創造的破壊、五つの新結合(①財貨、②生産方法、③販路、④原材料、⑤組織)を推進すること。ぜひイノベーションを起こしたい。例えば、①農業占有率と医療費の相関に着目した医食農連携の枠組み作り、②植物工場ビジネスの産業行政的支援、③食と健康(医)の連携による新しい販路形成支援、⑤企業同士の出会いの場としての産業連携ネットワークの強化、などがあげられる。

以上